

い ち げ 一夏会報

No.72



令和6年11月1日
発行：鶴見大学

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3
TEL.045-580-8623(ダイヤルイン)
<https://www.tsurumi-u.ac.jp>



鶴見大学 副学長
早川 徹

「オンライン講習を終えて

雑感」

まずもって、本年元日に発生しました能登半島地震で被害にあわれた方々の一日も早い復興を祈っております。震災の被害からの復旧・復興は未だ回復途上にあると聞いております。早く普通の生活を当たり前に過ごせることを願っております。

今年の夏も昨年以上の猛暑でした。連日の三十五度越え、ほぼ体温となった日もありました。クーラーをほぼ一日中つけっぱなしで過ごされた方も多いかと思えます。今年の夏の平均気温は、過去最高という記事もありました。日本だけではなく、世界中で猛暑に見舞われました。また、ただ暑いだけでなく、その暑い期間が長くなってい

る気がします。この猛暑、来年はもっと暑くなるとも報道されています。これより暑くなることは、余り考えたくないですね。

さて、今年度は、総持学園創立百周年であります。また、本学の司書・司書補講習が開設されて七十周年であります。この記念すべき七十周年の講習を無事に開催することができ、嬉しく思っております。受講生の皆様におかれましても、この猛暑の中、受講生の皆様はほぼ二ヶ月にわたる講習に励まれ、無事に終了されました事をお喜び申し上げます。

今年度は、全科目オンラインでの開講でした。Zoomによるリアルタイム授業、manaba

を利用したオンデマンド授業の二つの形式で行いました。大きな混乱もなく無事に進めることができました。この様なオンラインシステムが初めてだった受講生の皆様もいたかと思えます。最初は戸惑いもあった方もいたかも知れませんが、回数を重ねるに従って慣れてきたかと思えます。オンラインシステムには、どこにいても受講できるというメリットがあります。さらに、オンデマンド授業では何時でも自分の好きな時間に勉強できるという利点もあります。この猛暑の中、本学まで通学せずにご自分の好きな環境で勉強できたことも大きな利点ではないでしょうか？コロナ禍では、学生は大学に来る

ことが出来ませんでしたから、Zoomとmanabaを使って授業を遂行していただきました。今年の台風十号の際にも、歯学部ではZoom授業を行いました。manabaは予習、復習のツールとして普段の授業で使用しております。これからは、このような形態がもっと当たり前になってくることかと思っています。

一方で、ひとつの教室で一緒になって勉強する時に生まれてくる連帯感(?)に乏しいと感じられた方もいるのではないのでしょうか。たわいもない事です、一緒にお昼ご飯を食べに行ったり、我々の世代であれば授業が終わった後に飲みに行ったりするような機会をオンラインシステムでは得ることが難しいですね。最も最近の若い人には、飲み会は敬遠されるみたいですね。オンラインシステムが便利であることは疑いがありません。勉強の効率向上にも有効です。今や小学校からタブレット端末を使って授業をしていると聞きます。昔の様な漢字の書き取り練習はあるのでしょうか？これからの教育システムは大きく変わっていきます。我々の方がおいて行かれそうです。焦っても仕方ないですね。

最後になりますが、皆様方がこの司書・司書補講習で培った知識や技能を生かして、今後益々活躍されることを祈念しております。

初めての完全オンライン 講習を終えて



鶴見大学司書・司書補講習
主任教授
河西 由美子

講習生のみなさま、一夏の司書・司書補講習たいへん頑張られました。心よりお祝いとねぎらいの言葉を申し上げます。

本学の司書・司書補講習は1954（昭和29）年に開始され、70年を超える歴史と伝統のある講習です。その長い歴史の中で、本学は今年初めて開講科目のすべてをオンラインで実施する試みに踏み出しました。

オンライン化への反応は、応募開始後すぐに現れました。これまで長期間横浜鶴見で学ぶことが叶わなかった全国各地の皆様方から、定員数を大きく超えるご応募が寄せられました。応募書類の志望動機からは、地理的な制約を超え、新たな学

びの機会にチャレンジしたいという熱意が込みが感じられました。

そして、オンラインならではの利点として、既にみなさまはお忘れかもしれませんが、今夏の異常な猛暑と台風、大雨、地震などの天変地異への対応がありました。過去には台風によって休講となった授業時間を回復するために講師・講習生共に大変な思いをした年もあったことを振り返りますと、悪天候時にも影響を受けず受講できることの安心感は、遠隔教育ならではの大きなメリットだったと思います。

一方で、オンライン講習ならではのコミュニケーションの問題にも直面しました。本学講習係

では、講習期間の全科目について、全講習生からの質問・コメントの内容と数を記録していました。

講習中から驚きをもって注視していたのは、掲示板や個別メッセージの女性講師への質問・コメント数が、男性講師へのそれらに比して圧倒的に多かったことです。最終的な集計では、男性講師1科目あたりの質問数が平均12問であるのに対して、女性講師の場合は22問で、10問の開きがあり、ほぼ2倍です。これはログが残るオンライン講習において初めて明らかになった現象ですので、対面授業でも同様の傾向があるのかは不明です。質問すること自体は悪いことではありませんが、こ

のように明らかなジェンダーによる差異が起ころ背景や理由について考えてみる価値はありそうです。男性講師よりも女性講師に質問しやすい理由は何か？その質問やコメントは対面授業で教室に他の講習生全員がいたりするところでも同じようにできたでしょうか？

もし男性講師には言いにくいこと、対面では言いにくいことを、オンラインの掲示板や個別メッセージに書いていたとしたら、それは妥当な行為と言えるでしょうか？

SNSから派生した社会問題が日々報道されており、小学校からネットや情報モラルの教育が行われている今日、成人の学びの機会におい

ても、各自がより自らの行動に意識的なことになることの必要性を感じたことでした。

そしてメンタルヘルスの観点からは、講習開始当初は、「孤独に学んでいる」という講習生のみなさまからの悲痛なコメントを目にすることがありました。授業外での交流の重要性は、オンライン講習を先行されていた別府大学様からご助言をいただいていたこともあり、本講習では、講習期間を通じて複数回のオンライン交流会を企画し、毎回熱心なご参加がありました。交流会を契機にSNSを通じて授業外の交流を講習生間で育んでいただけたことは嬉しくありがたかったです。

冒頭に申し上げましたように、本学講習の歴史は大変長いのですが、実はこれまで大学を主体とした同窓会的な活動は実施しておりませんでした。しかし今回のオンライン講習を契機に、ネット上で講習修了後の交流

のフォローアップができればと考えております。

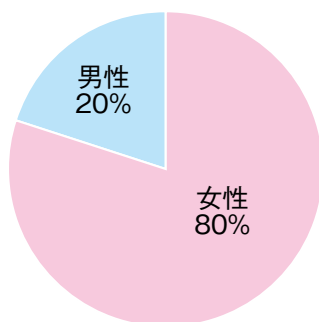
講習のオンライン化は、距離や時間の制約を超える利点がありますが、大学教育で4年間かけて学ぶ内容を2ヶ月半に集約して学ぶことの厳しさは存在します。オンラインで時間を配分することが可能とはいえ、1科目あたりの学修時間は限られています。特にお仕事を持たれている方、子育てや介護など家庭の事情との両立を余儀なくされている方々にとつては、長期間の学修は、職場・生活上のやりくりやご家族の理解など、周囲の環境や多くの方々を支えられて初めて成り立つものであったことでしょう。周囲への感謝はもとより、この厳しい夏を乗り越えたご自分をぜひ褒めてあげてください。

本学での講習が修了生のみなさま方の今後に資するものであれば幸いです。ご活躍を心より祈念申し上げます。

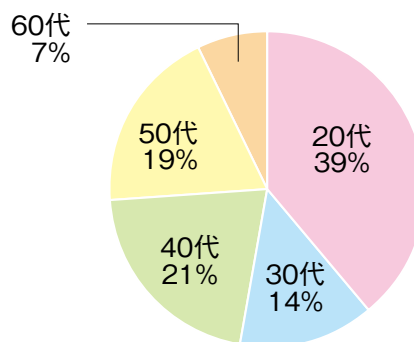
令和6年度 司書講習 アンケート集計結果

(回答数/受講数=113名/147名)

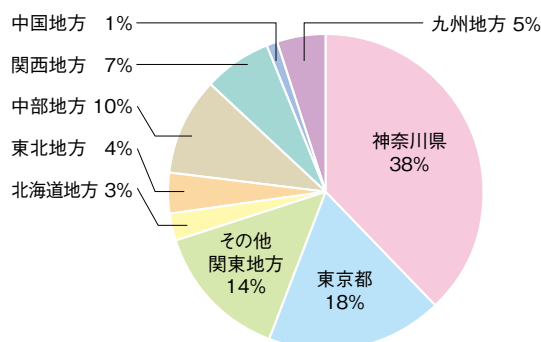
男女別データ



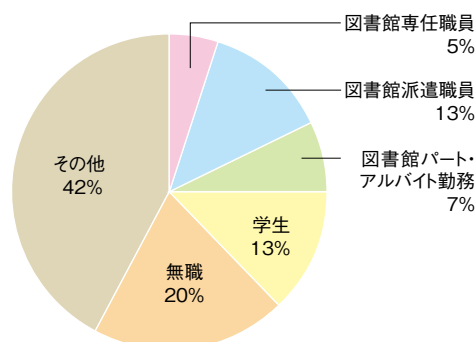
年齢別データ



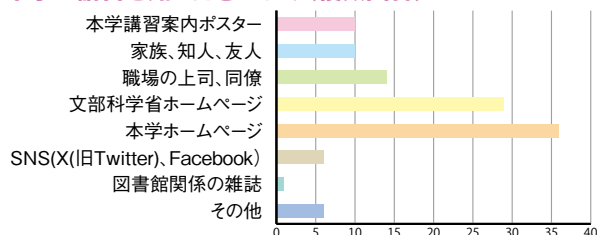
出身県別データ



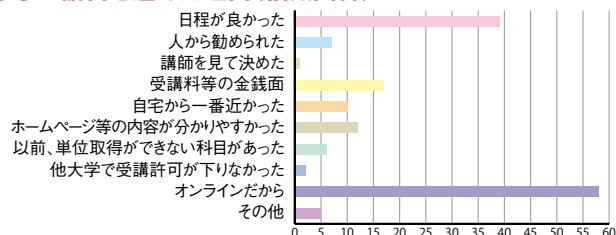
職業別データ



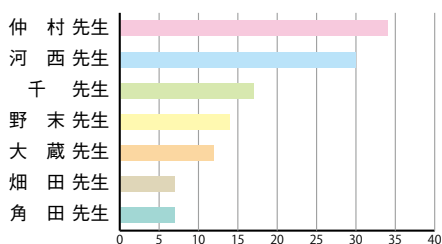
本学の講習を知ったきっかけ(複数回答)



本学の講習を選んだ理由(複数回答)



印象に残った講師(複数回答)



【仲村先生】

- 先生自身のエピソードや授業の説明の仕方が面白く楽しい授業でした。
- 先生のお話を聞いて、まずは近くの図書館めぐりを始めてみようと思いました。

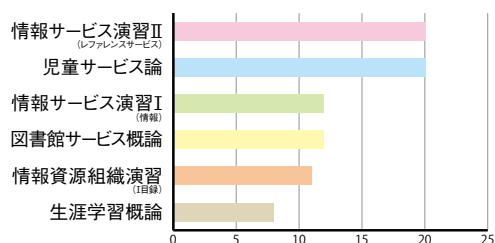
【河西先生】

- とても多くの絵本や本に関する雑誌を紹介してもらったのが印象的です。
- 参加型の授業も多く、授業が楽しかったです。紹介して下さる図書も、どんなところが良いのか説明してくださる気になるものばかりでした。

【千先生】

- 演習が続いて疲労が重なっていたところでパペットで授業を締め上げて頂き癒されました。明るい笑顔で授業をしてくださって、授業が終わったら終わりにしようか・・・ではなく、復習復習と思わせてくれました。質問にも丁寧にお答えいただきました。

印象に残った科目(複数回答)



【情報サービス演習Ⅱ(レファレンス)】

- ほとんど県立図書館で演習をしました。とても良い時間となり、今まで活用したことがないレファレンスツールを知りました。

【児童サービス論】

- 絵本の読み聞かせの演習や最近の状況について、あまり縁のなかった内容を学ぶことができました。

【情報サービス演習Ⅰ(情報)】

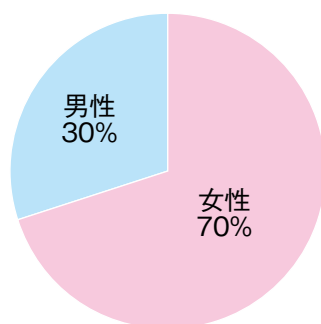
- 普段慣れていると思いこんでいた検索について、1から学ぶことができました。

【図書館サービス概論】

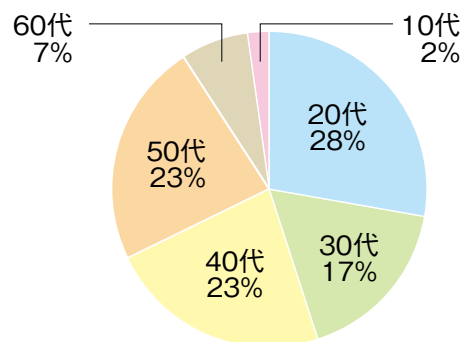
- 毎回授業の最後に全国各地の様々な図書館を紹介して下さるのが楽しかったです。図書館サービスの歴史や、著作権について等、図書館サービスについて楽しみながら学ぶことができました。

令和6年度 司書補講習 アンケート集計結果 (回答数/受講数=29名/57名)

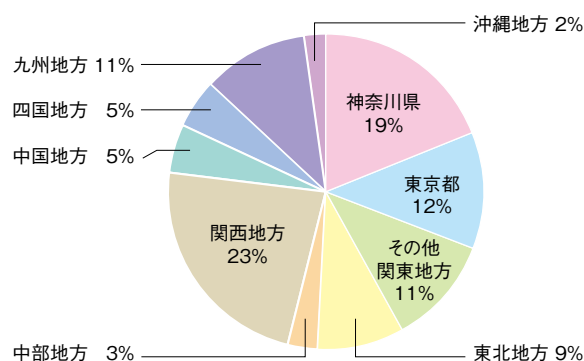
男女別データ



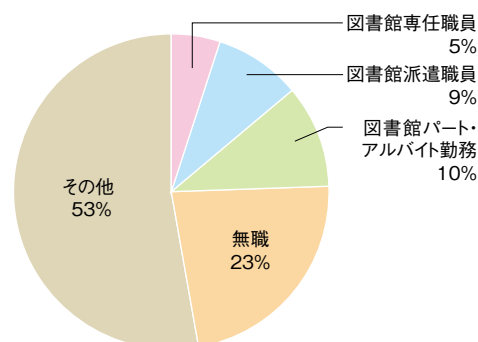
年齢別データ



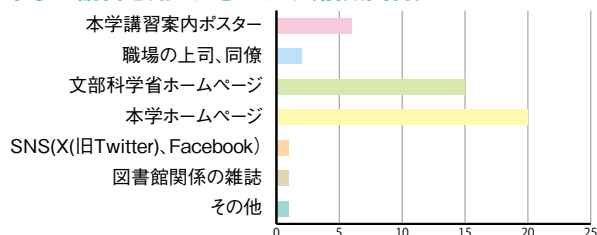
出身県別データ



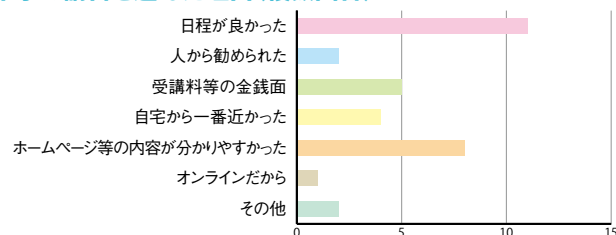
職業別データ



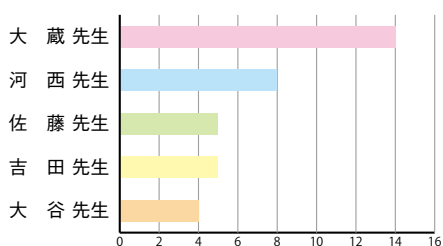
本学の講習を知ったきっかけ (複数回答)



本学の講習を選んだ理由 (複数回答)



印象に残った講師 (複数回答)



【大蔵先生】

●講義内容と共に、ご自分が経験された図書館での業務内容も含め、実際の風景を写真で見せてくださり、イメージも付きやすく理解が深まりました。

【河西先生】

●とても実務的なお話が面白く、児童サービスについて更に勉強を深めていきたいと思いました。

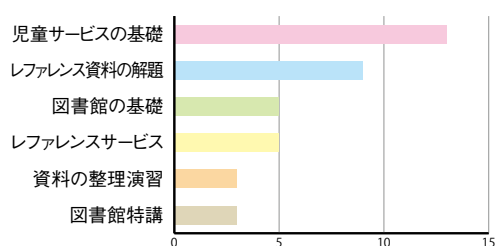
【佐藤先生】

●オンデマンドでしたが、かなり熱く90分の枠をときたま超えてまで教えてくれた。

【吉田先生】

●演習では図書館の資料を数多く使用し、質問に対して考えを深めることができました。

印象に残った科目 (複数回答)



【児童サービスの基礎】

●図書館が資料の貸出や情報収集のためだけの施設ではないという、私の知らない図書館の役割を学習することができ、新たな知見を得ることができました。

【レファレンス資料の解題】

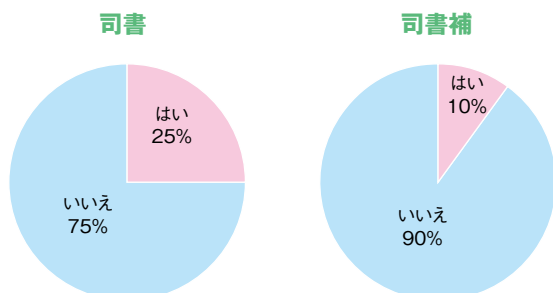
●演習を通じてどのような参考図書があるのか、また、レファレンスをどう進めるのかを学ぶことができました。

【図書館の基礎】

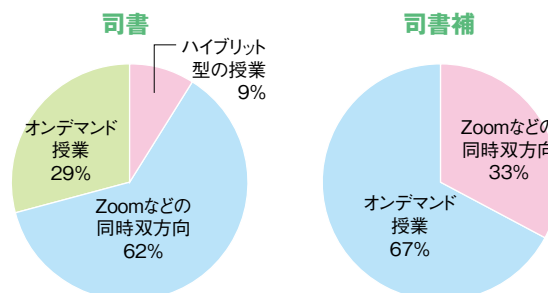
●他の授業科目の基礎になる内容でしたので、その後の授業科目の理解がとてもスムーズになりました。

令和6年度 オンライン授業について

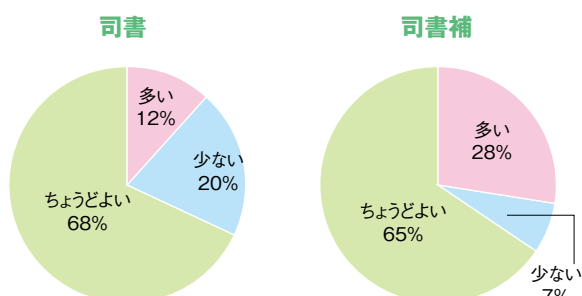
講習以前のオンライン授業経験



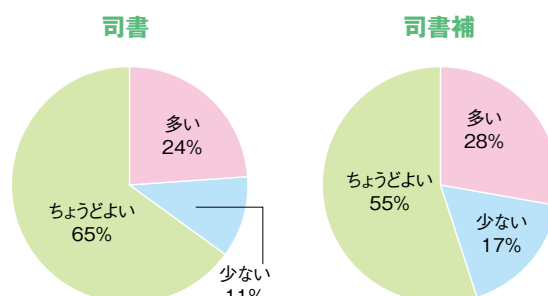
受講経験のあるオンライン授業の形式



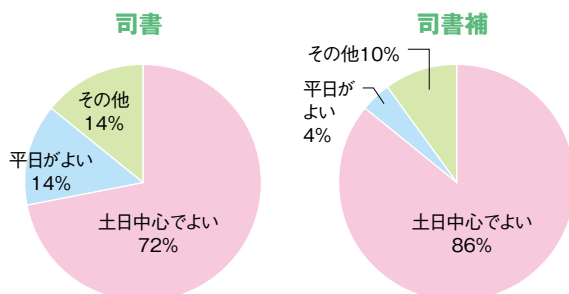
リアルタイム授業の科目数について



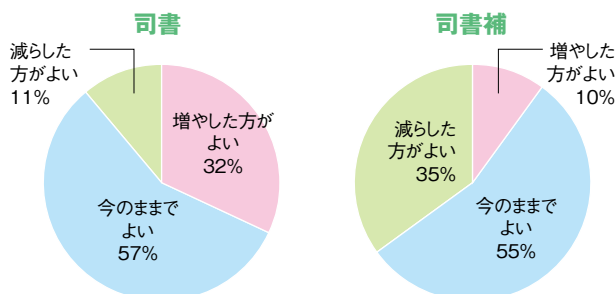
リアルタイム授業の1科目の時間数について



リアルタイム授業の日程について



リアルタイム授業の科目について



リアルタイム授業の感想

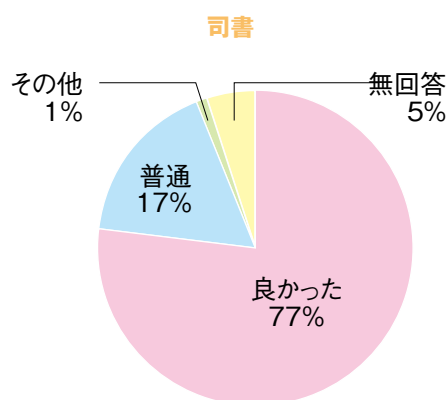
【司書】

- 天候関係なく、安全に受講できたことは、本当にありがたいことでした。対面授業しながら、受けられることは貴重な体験でしたし、有意義でした。
- 正しい理解で進められているか、確認する意味でオンデマンドより、リアルの方が質問できるので安心できました。
- 一日2時限が集中力的にちょうどいい感じでした。
- 対面の授業と同じように学べて良かったです。その場で質問が出来ることも、魅力の一つだと感じました。

【司書補】

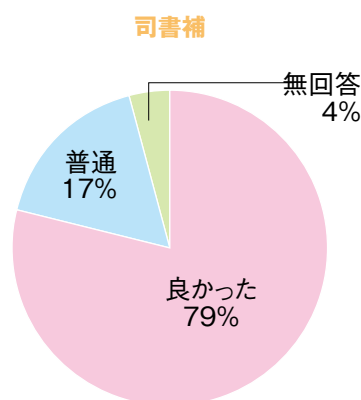
- 初めての経験でしたが、manabaも使いやすく問題なく授業に参加できました。
- 受講するにあたり、仕事の勤務調整がかなり大変でしたが、授業自体は先生や他の受講生とも関わられて疑問点などもすぐに聞くことができ、理解ができたので安心して受講することができました。
- 途中で授業が停止した時は、どうしたらいいのが困りました。
- リアルタイム授業は何か意見を言わなければならないのかと毎回ちょっとドキドキはしましたが、ブレイクアウトルームで受講生同士会話が出来たのは楽しい時間でした。

令和6年度 特別講座について



【感想】

- 利用者目線、図書館員目線とあらゆる観点から考えている構想に、図書館の重要さを感じました。おしゃべり可能は赤ちゃん連れや障害のある子にとって、とても気が楽になると思います。他の図書館を見学したり、利点や反省点を聞くことは大切だと思いました。
- 建築の段階から、どのようなことが考えられて作られているかといった貴重なお話を拝聴でき非常にありがたい時間でした。図書館員としての心得のようなものも学ばせていただきました。
- 「人」を大切にしている温かい図書館なのだと思います。おしゃべりや撮影も可能で、演奏会なども行っているとのこと、その場所に行けば何か見つかるかもしれないという利用者の皆様にわくわくをたくさん提供することのできる図書館なのだと思います。



【感想】

- 石川県立図書館の魅力が伝わってくる内容だった。おしゃべりができる図書館があればいいのと思っていたので、そういう図書館があってなんだか嬉しい気持ちになりました。
- 木の温もりを感じる素晴らしい館内に感動しました。建物だけではなく、図書館員のアイデアを取り入れた展示物にも関心が湧きました。図書館を利用する人々の知と癒しの空間になっているのが分かりました。
- 石川県立図書館の素晴らしさに驚くばかりでした。このような図書館はそうそうないと思います。観光地の一つになるということも羨ましいです。
- 実際に訪れてみたいと思いました。
- 個性あふれる「窓」や、楽しく本を探す工夫があちこちにあり、行きたいと思わせる図書館だと感じました。

..... 司書講習生の感想

- オンデマンド、オンラインの講習だったからこそ受講できました。大変でしたが、学び甲斐のある講習でした。
- とても長い期間の司書講習でしたが、今後も学び続ける姿勢を忘れずに、学んだことを活かして図書館に勤務できるよう今後も頑張っていきたいと思います。
- 科目によって授業の進め方や課題の量や期限が異なるため、戸惑うことがありました。日程的に余裕がある期間と全くない期間がありました。オンライン講習のメリット（通学が不要）、デメリット（他の受講者との交流や先生との直接のやりとり）の両方がありますが、今回はオンライン講習でよかったと思います。
- 司書講習の内容はもちろんです、とても多くの学びがありました。コロナ禍にオンライン連続講座を受講したことはありますが、manabaをはじめ授業方法の進化に驚きました。若い方と共に学べる機会はとても貴重な経験でした。ありがとうございました。

..... 司書補講習生の感想

- 最初はわからないことばかりで不安と戸惑いで何度となく挫折し、途中でやめようと思いましたが、先生方の温かいお言葉や課題、レポートの配慮などあり、最後まで受講することができました。
- 初めてのオンラインでの授業や、十数年ぶりの勉強にとっても苦労した夏でした。しかし新しいことを学ぶ楽しさを、感じられ充実した期間でした。ただ、これはあくまで通過点と思っています。自分の目標のために、また今日から動きたいと思います。
- 通学しての受講は仕事の都合で困難でしたが、今回は完全オンライン開催ということで受講することができました。通学の障壁はなくなりましたが、欠席しないよう仕事の調整や体調管理に気を付けたり、ときには寝る時間を削ってでも課題に取り組む時間を確保したりと、大変なことも多い2か月半でした。それでも、終わってしまえばあっという間だったと感じます。この講習で学んだことを基礎に、次のステップに向けて今後も学んでいきたいと思っています。

司書・司書補講習の歩み

鶴見大学の司書・司書補講習は、昭和29年(1954)に開講しました。その間、著名な多くの先生方のご指導の下、優秀な修了生を輩出し、本学の講習は成長してまいりました。そして、開設時の昭和29年に講習生の会として「一夏会」が発足したのがこの会報の由来となっております。

平成9年には大学会館での講習がスタートし、JR鶴見駅から徒歩3分という恵まれた環境で講習を行うことができるようになりました。近年はコロナウイルスの影響を鑑み、オンデマンド授業を取り入れながら対面方式で開講して参りましたが、今年度は講習科目すべてを完全オンラインで実施し、全国より受講いただきました。

今後も本学司書・司書補講習は、これらの歴史と数多くの優秀な修了生を誇りにますますの発展を期して努力してまいります。

司書・司書補講習受講生の皆様へ

アンケートにご協力頂きましてありがとうございました。皆様のご意見を参考に、今後もより良い講習にしてゆきたいと思っております。

今年度は、講習開講以来初めての完全オンラインでの実施となりましたが、無事に閉講式を迎えることができましたこと、事務局一同ほっとしております。ありがとうございました。

この密度濃い一夏の講習を乗り越えられたことは、皆様にとっても未来への一財産となったことと思います。今後のご活躍を楽しみに応援しております。約3ヶ月間お疲れ様でした。